

平成 19 年 11 月 30 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ル プ ス 技 研  
 代表者の役職名 代表取締役社長 池 松 邦 彦  
 (コード番号4641 東証第一部)  
 問 合 せ 先 取締役経営企画部長 野 田 浩  
 T E L 0 4 2 - 7 7 4 - 3 3 3 3

## 平成 19 年 12 月期業績予想の修正ならびに年間配当予想に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 8 月 9 日付にて発表しました平成 19 年 12 月期(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)業績予想の修正ならびに年間配当予想につきまして下記のとおりお知らせいたします。

## 記

1. 平成 19 年 12 月期業績予想の修正について (単位:百万円、金額は百万円未満切捨て、率は小数点第二位四捨五入)  
 (1) 連結(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	23,000	2,000	2,020	1,250
今回修正予想(B)	22,300	1,700	1,650	1,000
増減額(B-A)	△700	△300	△370	△250
増減率(%)	△3.0	△15.0	△18.3	△20.0
(ご参考)平成 18 年 12 月期)	21,592	1,586	1,488	411

- (2) 個別(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	19,030	1,810	1,880	1,080
今回修正予想(B)	18,600	1,650	1,700	650
増減額(B-A)	△430	△160	△180	△430
増減率(%)	△2.3	△8.8	△9.6	△39.8
(ご参考)平成 18 年 12 月期)	18,208	1,504	1,570	433

2. 業績予想修正の理由

【連 結】売上高を前回予想より 7 億円減の 223 億円(前期比+3.3%)に修正する主な要因は、アルプス技研本体において夏季の稼働時間が予想以上に少なかったこと(ただし 10 月以降の稼働時間は、予想通りの水準で推移すると想定しています)、子会社における外国人技術者の稼働が想定よりは遅れる見込みにあることなどです。

利益につきましては、上記売上減要因に加え、中途入社やローテーション時の稼働開始が想定より遅れたことや、子会社において来期以降の業績に寄与する外国人技術者確保のための先行的コストの増加などにより、営業利益を前回予想比 3 億円減の 17 億円(前期比+7.2%)、経常利益を同 3 億 7,000 万円減の 16 億 5,000 万円(同+10.9%)に修正します。また当期純利益は、同 2 億 5,000 万円減の 10 億円(同+143.3%)に修正させていただきます。

【個 別】修正要因は上記【連結】に記載のとおりですが、当期純利益につきましては、繰延税金資産の取崩(3 億 5,800 万円)によって前回予想比 4 億 3,000 万円減の 6 億 5,000 万円(同+50.1%)に修正させていただきます。

3. 年間配当予想について

年間配当予想につきましては連結業績連動で配当性向 50%としておりますが、前回予想どおり 1 株当たり年間配当 56 円(中間期に 15 円、期末に 41 円)を維持させていただく予定であります。

以 上

株式会社アルプス技研